

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成28年3月31日

計画の期間	14 安心安全で快適な町づくり「おおの」の推進 平成21年度～平成25年度（5年間）	交付団体	大野町
計画の目標			

安心安全な生活を確保するため、道路・歩道ネットワークを構築し、中核医療施設までのアクセスを確保する。また、道路利用者の憩いの場と災害時の拠点を整備することで快適な生活環境を形成する。

計画の成果目標（アウトカム指標）	中核医療施設までの時間短縮（H21到達時間10分エリアをH25に20%拡大）
------------------	--

アウトカム指標の定義及び算定式	アウトカム指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)							
揖斐厚生病院から実走行調査所要時間10分のエリアを測定し、当初調査面積と事後調査面積を対比する。 (増加割合% = ((事後調査面積 - 当初調査面積) / (当初調査面積)) × 100)	0%	—	20%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	587 百万円	A	458 百万円	B	0 百万円	C	129 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	22.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
町内部調査	平成27年度 公表の方法 町ホームページで公表

交付対象事業

A 地方道路整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
												H21	H22	H23	H24	H25		
14-A1	道路	一般	大野町	直接		市町村道	交安	0.55	(他)黒野西方1号線	歩道整備L=1.85km	大野町						265	
14-A2	道路	一般	大野町	直接		市町村道	改築	0.55	(他)松山野1号線	現道拡幅L=1.22km	大野町						57	
14-A3	道路	一般	大野町	直接		市町村道	修繕	0.55	(他)五之里本庄幹線	舗装修繕L=0.76km	大野町						27	
14-A4	道路	一般	大野町	直接		市町村道	修繕	0.55	(他)黒野70号線他9路線	橋梁修繕L=0.55km	大野町						41	
14-A5	道路	一般	大野町	直接		市町村道	舗装	0.55	(他)稲富上秋1号線他2路線	舗装補修L=9.8km	大野町						68	
14-A6	道路	一般	大野町	直接		市町村道	舗装	0.55	(他)野牛洞2号線	トンネル補修L=663m	大野町						0	
												合計	458					

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
												合計	0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
14-C1	施設整備	一般	大野町	直接		公園		うぐいす公園	A=5110㎡	大野町						117	
14-C2	計画・調査	一般	大野町	直接		橋梁長寿命化計画策定	0.55	橋梁長寿命化計画策定	対象橋梁数N=25橋	大野町						5	
14-C3	計画・調査	一般	大野町	直接		トンネル点検	0.55	トンネル点検	トンネル点検 L=663m	大野町						7	
												合計	129				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
14-C1	構築する道路ネットワークを利用して観光拠点を周遊する道路利用者等の憩いの施設となり、非常時には防災拠点として利用できる。	
14-C2	1級河川が町を南北・東西に縦横断しているため、橋梁は住民の生活主道路となっており、災害時の通行分断を防ぐことができる。	
14-C3	14-A6のトンネル補修に合わせトンネルの詳細な点検を実施し、道路網全体の安全性を向上させる。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	道路・歩道ネットワークの構築が進み、中核医療施設や町防災拠点施設へのアクセスが向上した。				
II 定量的指標の達成状況	中核医療施設までの実走行所要時間10分のエリア	最終目標値	20.0%	目標値と実績値に差が出た要因	全路線について期間内完了が図れなかったため目標値に達することが出来なかったが、事業着手はされており引き継がれた交付金事業にて事業完に向け継続的に事業実施している。継続された事業が完了したら目標値が達成される。
		最終実績値	13.6%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	道路利用者の憩いの場と災害時の拠点が整備され、安全安心で快適な生活環境が形成された。
--------------------------------------	--

3. 特記事項(今後の方針等)

安全・安心のまちづくりのための道路整備計画は完了となるが、引き続き、社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金により事業を継続していく。
